



じりつかつどう けんしゅうぶ
自立活動・研修部インフォメーション

でんでんむし

れい わ ねん がつごう
令和7年11・12月号

あい ち けんりつおかざきろうがっこう
愛知県立岡崎聾学校

とうきょう

東京2025デフリンピック



11月15～26日に「東京2025デフリンピック」が開催されました。デフリンピックとは、聴覚障害のあるアスリートのためのオリンピックで、4年に一度開催されています。オリンピックとはほぼ同じルールで行われますが、審判の指示が視覚的に分かるように光や旗などの工夫が取り入れられています。日本での開催は初めてで、さらに本校にゆかりのある選手も出場しました。観戦に行った人もいましたね。デフリンピックで日本代表選手団は、過去最高となる51個（金：16個、銀：12個、銅：23個）のメダルを獲得しました！

本校卒業生の坂田翔悟選手も陸上競技の100m、4×100mリレーに出場し、100mでは8位入賞、4×100mリレーでは金メダルを獲得しました。坂田選手より、幼児児童生徒の皆さんへメッセージをいただいたので紹介します。

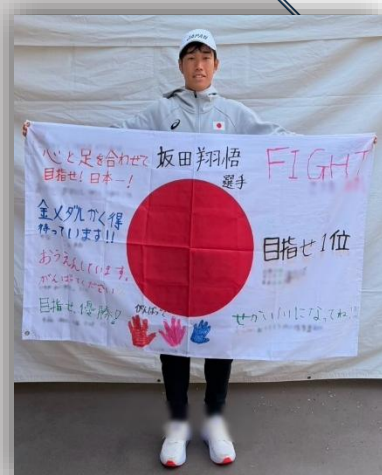
坂田選手から皆さんへのメッセージ

岡崎聾学校の皆さん、こんにちは！

デフリンピックの試合会場に、小学部の皆さんが作ってくれた応援旗を持って行きました。「がんばれ！」という皆さんの気持ちがたくさん詰まった旗を見て、遠い場所でも自分一人じゃないんだと感じ、すごく勇気をもらいました。本当にありがとうございます。皆さんの応援のおかげで、リレーで金メダルを獲得できました！

デフリンピックは、耳の聞こえない選手たちの世界一を決める大会です。世界中の選手と戦って改めて感じたのは、「目標に向かって努力する楽しさ」です。目標を達成するまでには、何度も転んだり、心が折れそうになったりすることもあります。でも、「絶対できる！」と自分を信じて、少しずつ練習を続けることが一番大切です。皆さんが今、勉強やスポーツ、遊びでがんばっていること、何でもいいです。その「がんばる気持ち」は、将来きっと皆さんの力になります。

皆さんの活躍を応援しています！いつか皆さんと会える日を楽しみにしています！



文化祭「聴覚障害者に役立つ機器展」の感想

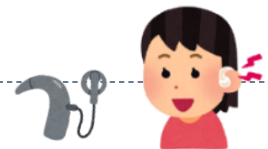
文化祭では、理研産業、岡崎ヒヤリング、A H A（あいち補聴器センター）、日本コクレアの4つの業者の御協力のもと、機器展示を行うことができました。各社からいろいろな機器を持ってきていただき、実りある展示となりました。また、多くの方々に来場していただきました。今回は、皆さんに書いてもらったアンケートの報告をします。

児童生徒・保護者・卒業生・職員より

- ・磁石だけで使える人工内耳（KANSO）があり、大人になったときに使えると思いました。
- ・防水カバーはお風呂やプールなどにも使えるのでびっくりしました。
- ・文化祭で毎年業者から話を聞くことができる機会があり、ありがたく思っています。
- ・夏にYYアプリの講習会があり、今回の展示で音声認識の正確性を改めて実感しました。
- ・振動する機器がすごかったです。もう少し機械を柔らかくしてほしいです。
- ・クロス補聴器、地震が起きたときに知らせる機器の展示が欲しいです。

機器展の業者より

- ・骨導補聴器の試聴を通して、少し異なる補聴器の仕組みを体験してもらうことができました。人工内耳を検討している方へ、情報提供の機会をいただき感謝します。
- ・ロジャーの展示をしたり、機器のメンテナンスの必要性を伝えたりする機会をいただき、嬉しく思います。
- ・振動目覚ましやスマートフォンで音を確認できる製品が人気でした。今後も新しい製品やサービスを紹介し、皆さんの役に立てるようにしてまいります。



【12・1月の補聴器相談日】

※場所：作法室 時間：13：45～15：45

緊急の場合は直接店舗に相談に行きましょう。

来店の際は予約をしておくとしスムーズに対応していただけます。

| | 12/15 | 1/19 |
|---------|-------|------|
| 理研産業 | ○ | ○ |
| 岡崎ヒヤリング | × | ○ |
| あいち補聴器 | ○ | ○ |